



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月2日

上場会社名 株式会社 アイ・エス・ビー

上場取引所 東

コード番号 9702 URL <http://www.isb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若尾 逸雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 川崎 工三

TEL 03-3490-1761

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	4,440	28.6	352	282.4	345	255.4	164	282.6
28年12月期第1四半期	3,452	13.0	92	97.3	97	186.6	42	

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 168百万円 (951.4%) 28年12月期第1四半期 16百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	32.13	
28年12月期第1四半期	8.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	9,271	5,596	60.4
28年12月期	7,802	5,556	71.2

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 5,596百万円 28年12月期 5,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		25.00	25.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,400	26.7	260	50.9	270	39.9	160	42.3	31.34
通期	17,000	26.9	680	124.7	700	115.3	420	139.9	82.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有な会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期1Q	5,105,800 株	28年12月期	5,105,800 株
29年12月期1Q	6 株	28年12月期	6 株
29年12月期1Q	5,105,794 株	28年12月期1Q	5,105,794 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、米国のトランプ大統領の政策運営に翻弄される形で幕を切りました。米国の政策に対する不確実性や中国を中心としたアジア新興国の経済の先行きに懸念は残るものの、米国経済の堅調な推移を受け、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましても、企業収益の改善を受け概ね堅調に推移いたしました。引き続き労働需給はひっ迫しており、受注単価に関しても堅調に推移しております。

このような環境の中で、当社グループでは、当期で最終年度となる3か年中期経営計画の大綱である、既存事業の受託開発事業において、業界の好況を逃すことなく幅広い分野において受注を取込むこと、また次代の収益源創出のため新事業への開発投資を確実に進めることに注力し、当期業績予想の達成と、将来に向けた新事業の確立と収益化を推し進めるという目標に向け、当事業年度をスタートいたしました。

株式会社アートおよびアートサービス株式会社を連結子会社化したことに伴い、前年同期対比では増収増益となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高44億40百万円（前年同四半期比28.6%増）、営業利益3億52百万円（前年同四半期比282.4%増）、経常利益3億45百万円（前年同四半期比255.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億64百万円（前年同四半期比282.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(情報サービス事業)

情報サービス分野では、「携帯端末」「組込み」「モバイルインフラ」が特に順調に推移しているほか、「公共」「フィールドサービス」「新事業」も計画値を上回っております。一方、「金融」「情報サービス」は計画値を若干下回っているものの概ね計画値レベルであり、総じて好調なスタートとなっております。

新事業においては、製品の完成度も上がり、販売につながるよう営業活動に引き続き鋭意注力して取り組んでおり、MDM、公共BBなどでは結果が出始めております。

以上の結果、当事業における売上高は34億26百万円、営業利益は1億93百万円となりました。

(セキュリティシステム事業)

セキュリティシステム事業は、出入管理、入退室管理システムともに順調に推移致しました。

以上の結果、当事業における売上高は10億14百万円、営業利益は1億58百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、92億71百万円と前連結会計年度末より14億69百万円増加いたしました。これは主として受取手形及び売掛金や商品、土地等の増加額が、現金及び預金等の減少を上回ったことによるものであります。

負債は、36億74百万円と前連結会計年度末より14億28百万円増加いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や短期借入金、賞与引当金等の増加が未払金等の減少を上回ったことによるものであります。

純資産は、55億96百万円と前連結会計年度末より40百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加、およびその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は、60.4%と10.8ポイント低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第1四半期の業績は期首計画を達成し、また、平成29年2月14日の期首業績予想公表時に比べ、今後の外部環境や業界の動向、また当社グループの受注動向等に大きな変動はないと考えており、第2四半期累計および通期の連結業績予想につきましては期首業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,091,158	2,765,766
受取手形及び売掛金	2,830,690	3,231,804
前払費用	77,479	109,862
商品	30,464	303,812
仕掛品	249,028	198,121
繰延税金資産	90,550	147,810
その他	36,194	49,160
貸倒引当金	△2,799	△5,274
流動資産合計	6,402,768	6,801,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	333,809	396,402
減価償却累計額及び減損損失累計額	△228,228	△266,215
建物及び構築物 (純額)	105,580	130,187
土地	248,084	605,084
その他	341,366	429,576
減価償却累計額及び減損損失累計額	△255,661	△328,869
その他 (純額)	85,704	100,706
有形固定資産合計	439,369	835,977
無形固定資産		
のれん	182,318	625,168
その他	271,227	296,748
無形固定資産合計	453,545	921,916
投資その他の資産		
投資有価証券	248,480	328,080
長期前払費用	6,667	11,633
差入保証金	147,811	164,539
会員権	1,100	11,600
繰延税金資産	77,868	158,585
その他	90,260	104,459
貸倒引当金	△65,457	△66,412
投資その他の資産合計	506,731	712,486
固定資産合計	1,399,647	2,470,381
資産合計	7,802,415	9,271,446

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727,463	1,286,633
短期借入金	370,000	830,000
未払金	428,244	256,435
未払費用	13,063	92,940
未払法人税等	146,945	176,608
未払消費税等	163,214	201,790
賞与引当金	16,203	332,186
受注損失引当金	3,954	297
その他	125,290	78,167
流動負債合計	1,994,379	3,255,060
固定負債		
退職給付に係る負債	51,992	160,696
役員退職慰労引当金	141,918	133,482
資産除去債務	52,197	55,889
繰延税金負債	5,852	57,660
その他		11,964
固定負債合計	251,961	419,692
負債合計	2,246,341	3,674,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,707,526	1,707,526
資本剰余金	2,311,704	2,311,704
利益剰余金	1,500,276	1,536,657
自己株式	△4	△4
株主資本合計	5,519,502	5,555,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,766	71,177
為替換算調整勘定	△28,195	△30,367
その他の包括利益累計額合計	36,571	40,809
純資産合計	5,556,074	5,596,693
負債純資産合計	7,802,415	9,271,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,452,079	4,440,532
売上原価	3,012,593	3,541,399
売上総利益	439,486	899,133
販売費及び一般管理費	347,342	546,752
営業利益	92,143	352,381
営業外収益		
受取利息	713	303
受取配当金	400	500
保険事務手数料	-	798
保険解約返戻金	-	812
その他	4,685	1,163
営業外収益合計	5,799	3,577
営業外費用		
支払利息	278	6,585
保険解約損	-	2,118
その他	349	1,392
営業外費用合計	627	10,095
経常利益	97,316	345,862
特別利益		
投資有価証券売却益	667	-
特別利益合計	667	-
特別損失		
役員退職慰労金	-	9,074
特別損失合計	-	9,074
税金等調整前四半期純利益	97,983	336,788
法人税、住民税及び事業税	86,196	130,535
法人税等調整額	△31,083	42,226
法人税等合計	55,113	172,762
四半期純利益	42,870	164,025
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,870	164,025

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	42,870	164,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,216	6,410
為替換算調整勘定	△8,649	△2,172
その他の包括利益合計	△26,866	4,238
四半期包括利益	16,004	168,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,004	168,264

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間案分して算定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

当社グループは、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額(注)	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	3,426,472	1,014,060	—	4,440,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,098	—	△5,098	—
計	3,431,570	1,014,060	△5,098	4,440,532
セグメント利益	193,579	158,801	—	352,381

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「セキュリティシステム」セグメントにおいて、株式会社アートの株式を取得したことにより、同社およびアートサービス株式会社を連結の範囲に含めました。、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結会計期間末において、457,024千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、株式会社アートおよびアートサービス株式会社を連結の範囲に含めたことにより、当社グループの事業展開、経営資源の配分の決定及び業績評価の方法を実態に即して見直したことにより、報告セグメントの区分を変更しております。従来は「情報サービス」の単一の報告セグメントでしたが、「情報サービス」と「セキュリティシステム」の2報告セグメント体制へ変更しました。なお、前第1四半期連結累計期間につきましては、「情報サービス」の単一セグメントに変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。